

## 学校図書館支援センターだより



新居浜市教育委員会学校教育課  
新居浜市一宮町一丁目5番1号  
TEL (0897)65-1301

## 2024年 第78回「読書週間」について

## 期間

令和6年10月27日(日)~11月9日(土) ※文化の日を中心に2週間

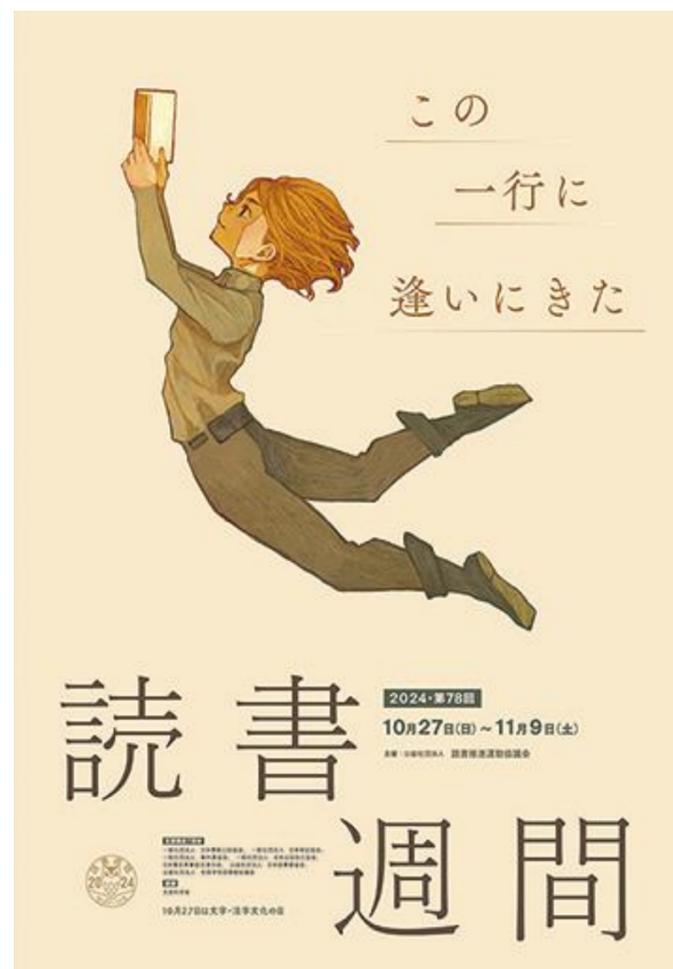
## 標語

この 一行に 逢いにきた

## ポスター

〈作者：中山実穂さんのことば〉（応募数663点の中から）

本の中にグッとくる一行があって、何度も何度も目でなぞり、ついには暗記してしまう。作者はこの一行のためにこの本を書いていて、読者はこの一行に出逢うため読んでいるのだと思うとき、幸福になる自分がいます。



2024年第78回 読書週間ポスター

## マーク



この鳥は 何でしょう？

## 〈由来〉

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ（アテネ）の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目ですまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたといいます。

森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、読書推進運動協議会では長い間使用してきました。

## 歴史

終戦まもない1947年（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日~11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定され、よりいっそうの盛りあがり、期待いたします。

『こども読書週間』は1959年に始まり、「こどもの日」をはさんだ、4月23日~5月12日の3週間です。

令和6年8月2日（金）、新居浜市立図書館（別子銅山記念図書館）に於いて、県内の小・中学校の図書館教育担当者が約80名集まり、「確かな学びを支え、豊かな心を育む学校図書館」というテーマでの研究会が行われました。

午後からの研修の一コマ（140分）、図書館支援センターが担当させていただき、新居浜市学校図書館支援センターのあゆみと取組を発表した後、『「紙ポ」でプレゼン』のワークショップを実施しました。

学校司書によるワークショップ「『紙ポ』でプレゼン」づくり

ワークショップの目標

グループによる調べ学習を通して、テーマに沿ったプレゼン資料を協力して作成し、発表し合うことができる。

- 1 学校司書により、ワークショップの流れをパワーポイントで説明。SDGsにおける17の目標に即して、4人グループにしている。テーマに対して〈原因〉〈現状〉〈対策〉〈各班で決める項目〉を各自で分担する。
- 2 各自が資料を読んで、自分の分担を調べて付箋に書く。
- 3 付箋をもとに一枚の用紙に記事をまとめて書く。
- 4 各自が担当テーマに沿ってまとめた用紙を台紙に貼り、リーフレットのタイトルを決めて記入する。
- 5 他の班とリーフレットの発表をし合い、感想を話し合う。



学校図書館を活用した  
学びの成果物を展示しました



学校司書により作り方を説明します



原因・現状・対策・班項目の分担を決めます



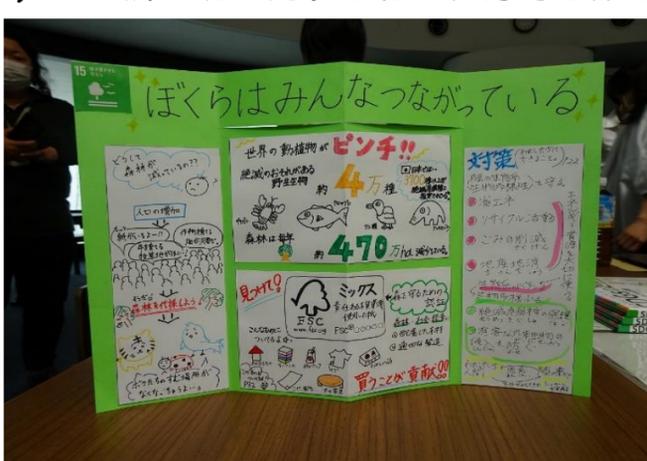
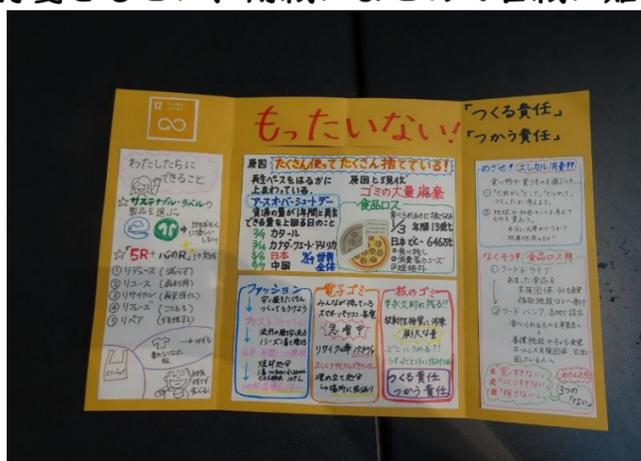
各自が付箋にまとめます



付箋をもとに、用紙にまとめて台紙に貼ります



隣の班と発表し合い、感想を話し合います・・・ありがとうございました



完成した『紙ポ』です。19班全ての班が時間内に仕上げ、発表し合うことができました。